

令和2年8月6日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 令和2年8月6日(木)
午後1時30分
- 2 閉会の日時 令和2年8月6日(木)
午後2時58分
- 3 招集の場所 ハピネスふくちやま(第1会議室)
- 4 出席委員の氏名 端野 学
塩見 佳扶子
和田 大顕
加藤 由美
織田 信夫
- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの
教育部長 前田 剛
教育委員会事務局理事 廣田 康男
次長兼教育総務課長 牧 正博
次長兼学校教育課長 崎山 正人
学校教育課担当課長兼教育総務課 伊豆 英一
学校教育課総括指導主事 新井 敏之
学校給食センター所長 村瀬 勝子
生涯学習課長兼中央公民館長 八瀬 正雄
- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者
次長兼教育総務課長 牧 正博

7 議事及び議題

別添のとおり

8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり

9 決議事項

議第7号 原案どおり可決、承認

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

福知山市教育委員会 委 員

教育委員会会議録調製者 教育部長

教育委員会会議録

1 開会

端野教育長が開会を宣告。

端野教育長 傍聴人から傍聴の申請があります。
許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 許可をさせていただきます。

2 議事

(1) 議第7号(令和2年度以降使用中学校教科用図書の採択について)

端野教育長 ～資料に基づき説明～

議題7号の令和3年度以降使用の中学校教科用図書等の採択について、提案があります。初めにその採択について、私のほうから大きく7点について説明をさせていただいて、各教科を進めさせていただきます。それでは本日の議題であります、令和3年度以降の中学校で使用します教科用図書の採択についてです。

1点目、教科書の採択の権限について、教科書の採択は学校で使用する教科書を決定することであり、その権限は公立学校で使用される教科書については、その学校を設置する市町村、都道府県の教育委員会にあります。国や私立学校で使用される教科書の採択の権限は校長にあります。そして義務教育諸学校では、現行では4年ごとに採択が行われまして、1度採択された教科書は4年間同じ種類のものを使用するものとなっております。

2点目、教科書として選ぶ場合、どの本から選ぶのかということですが、これは文部科学大臣の検定を通った教科書の中から選定して決定をすることになります。

3点目、教科書の検定制度とはということで、教科書の検定とは民間で著作編集された図書について、文部科学大臣が教科書として適切か否かを審査して、これを合格にしたものを教科書として使用することを認めることでもあります。

4点目、採択の方法はどこに定められているかということですが、採択の方法については、義務教育である小学校、中学校、中等教育学校の前期課程および特別支援学校の小中学部の教科書については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」によって定められています。

5点目、採択の方法について、本日の共同採択ということになりますが、先ほど述べましたように、市町村立の小中学校で使用される教科書の採択の権限は市町村教育委員会にあります。平成26年4月に改正されました「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」によって、都道府県教育委員会が設定した共同採択地区内の市町村教育委員会が協議をして、その区ごとに同一の教科書を採択するというようになっていきます。この中丹地区においては、綾部市、福知山市、舞鶴市の各教育委員会が協議により規約を定めて共同採択を行うための中丹地区教科

用図書採択協議会を設けています。その事務局は三市の教育委員会が輪番で担当していますので、今回については舞鶴市教育委員会が事務局です。京都府教育委員会策定の選定事業算定をしながら、学校の教員からなる調査員を置くなどして、独自に教科用図書について調査研究した上で、採択協議会の協議の結果に基づいて種目ごとに同一の教科書を採択する、このようにしています。

中丹地区教科用図書採択協議会の協議に基づいて教科用図書の採択をするわけですが、最終的に決めるのは各市の教育委員会ですので、この場で協議した結果が過日の中丹地区教科用図書採択協議会での協議の結果と異なる採択が決定されるようなことになれば、再度中丹地区教科書対策協議会を行って、その区ごとに同一の教科書を採択することになります。

6点目、採択の時期につきましては、義務教育諸学校については、使用年度の前年度の8月31日までに行わなければならないとされております。都道府県教育委員会は、学校の校長および教員、採択関係者、住民の皆さんの教科書調査研究のために、毎年6月から7月の間の一定期間、教科書の展示を行っています。府内11カ所の常設展示場で行っております。中丹地区においては、中丹教育局と舞鶴市教育委員会で展示をしています。

7点目、本日までの経過の報告について、中丹地区教科用図書採択協議会を経まして、本日の採択までの流れについて報告をさせていただきます。まず第1回目の中丹地区の教科用図書採択協議会は、令和2年5月19日火曜日の午後2時半から京都府総合教育センター北部研修所の第2研修室で行いました。議事につきましては、令和3年度以降使用の中学校用教科用図書採択について、概要なり、日程等の打ち合わせを行います。

代表調査員の打ち合わせを令和2年5月27日水曜日に行うこと、第2回、第3回の採択協議会を計画すること、この協議会の予算等について。それから代表調査員なり調査員の辞職について、議事で第1回目の会議を行います。

第2回目、令和2年7月20日月曜日午前10時半から夕方まで、京都府総合教育センター北部研修所の大研修室で行います。議事については、経過なり、日程説明の後、代表調査員の報告を中学校教科用図書、「美術」、「保健体育」、「社会」、「地図」、「数学」、「理科」、「音楽」、「技術家庭」、「国語」、「書写」、「英語」、「道徳」、こういう順番で、それぞれ調査報告を聞きます。あと質疑ということになります。

第3回目、7月の31日金曜日の午後2時半から、同じく京都府総合教育センター北部研修所の大研修室で行い、議事としましては、前回の代表調査員の報告は採択基準を元に協議をして、採択を行い、令和3年度以降使用の中学校教科用図書の特長点等の報告に基づいて、委員の協議により、中丹地区教科用図書採択協議会として採択をしたものであります。そして、中丹地区教科用図書採択協議会としての採択を元に、各市教育委員会での採択結果を8月17日火曜日までに、事務局である舞鶴市教育委員会教育長宛てに報告をします。

今後は、令和3年度授業数等について、9月1日を期限に中丹教育局長に報告を上げることになります。

本日の教育委員会議、教科用図書の採択につきましてですが、調査員が調査・研究に当たって用いる採択基準および基本観点が次の4点という

ことで、それに基づいて採択を行います。
アとして、学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されているもの、全体としての特徴や創意工夫、これが1つ。

2点目、内容や構成が学習指導を進める上で徹底してあるか、基礎的・基本的な知識および理論の習得を図るために配慮、それから思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、それから児童が自主的・対話的に学習に取り組むことができる配慮。そして、学習指導要領に示していない内容の取り扱い。最後に他の教科との関連について。

3点目、使用上の便宜が工夫されていることということで、表記・表現の工夫等です。

4点目、技術観点で採択を行うことがあります。

ただ今から一覧のとおり、国語科のほうから順に進めさせていただきたいと思います。別紙一覧については、調査員の報告内容が備考欄に記されております。それも参考にしながら、それぞれ委員の方からの御意見をお願いしたいと思います。

初めに国語科についてよろしく申し上げます。

加藤委員

国語科については、光村図書がいいなと思いました。3点、大きく特徴があると思います。1点目は、学び方を繰り返し積み重ねていくという、恒常化された構成だなと全体的に思いました。文学、説明の表題ともに学習過程が一目で分かり、一貫しているように思います。教材の重点が置かれている学習過程のところは黄色で強調されており、身に付ける力が学ぶ側も指導者側も見えやすいと思いました。こういうことが方正のユニバーサルデザインではないかなと思います。

また、教材ごとの学びの重点事項を学習の窓として解説してあり、身に付けるポイントが明示されていました。この学習の窓は巻末に一覧化されており、読むための基本的な観点を視覚的に見渡すことができるので、他教材を学ぶときにも活用できるなと思いました。

2点目は、単元目標です。単元目標が非常に具体的であり、手立てを伴った表記だと思いました。例えば何々に着目して、何々について考えるというような手立てが講じてありました。この単元で、何をどのように学ぶのが明確だと思います。また振り返りにおいては、目標に対応しており、大変整合性があると思いました。

3点目は、国語学習への出会いです。国語の学びへ誘う巻頭詩、それから学習の見通し、教科書の使い方など、4月当初の国語教室作りができるように配慮されています。

まず一番最初に生徒が会う教材は、中学生の日常を題材にした文学的な文章でスタートしておりまして、等身大の内容です。だから学習が生徒たちにとって身近なものになり、学びに入りやすいと思いました。

東京書籍においても、生徒が学びたくなる仕掛けがたくさんありました。学びのときでも課題発見を促す、6人の中学生とコトハという漫画は教材の入る前に配置されており、学習の見通しができるなと思いましたし、物語仕立て、それからゲーム感覚の言語教材の日本語探検などは面白いなと思いました。

日本語探検は言葉が多く、読みづらさもあると思います。そういった特色の中で、やはり光村図書がいいと思いました。

端野教育長

他に御意見はありませんか。

和田委員

中丹地区の教科採択委員会では、教科国語について、光村図書出版が採用されました。光村図書以外では、評価の高かったのは、先ほどお話がありました東京書籍であったような感じが致します。

まず東京書籍の図書について少し触れたいと思うのですが、東京書籍の図書では、言葉の力で身に付ける資質・能力を示し、学びのときだから始まる学びを支える言葉の力までの積み上げと、資質・能力を定着させる工夫がなされていたように感じ取りました。

2点目は、図書に登場する、先ほどもこれありましたけれども、漫画の6人の生徒が対話する場面が設定されていて、子どもたちが学びを分かりやすく、そして学習を深めることができる仕組み作りが作られていたように思います。

3点目は、PISA型読解力調査や、全国学力調査で明らかになった課題を克服するための教材が多く採用されていたような感じがしました。

4点目は、生徒の語らい指導に広がる言葉、言葉を広げようで約1,500以上の語らいを示しているなどの特徴が多様に読み取れました。

一方、光村図書出版では、まず巻頭に学習の見通しのもとを設けて、1年間の国語学習で身に付ける知識および理論、思考力・判断力・表現力を示して、巻末の学習の窓一覧では、学習のポイントを一覧で示し、同じく巻末に学んだことを確認する力試しで、学習を振り返ることが設けられていて、主体的・対話的で深い学びを支える学習方法が確立されているように読み取れました。

2点目は、思考のレッスンや情報整理のレッスンで、情報の扱い方を示しながら、文章を比較して読む活動が多く設けられていて、読み比べて多角的に吟味して評価する力を養う工夫がされていました。

3点目は、言葉を大切に、人と本と古典とつながる聞き方のコツ、読書生活を豊かに、古典の世界など、光村の教育用図書全般を通じて、言葉を大切に扱っていることが読み取れることから、私は先ほど加藤委員がおっしゃいました、光村図書出版の図書を採択することに賛成いたします。

端野教育長

今お二人から光村図書という御意見でした。初めに国語学習、子どもたちと国語学習への出会いの問題、またユニバーサルデザインの問題、また単元構成なり単元目標の設定について、その他良さを言っていただきました。

それでは、国語科について「光村図書出版株式会社」に決定ということによろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

端野教育長

異議がありませんでしたので、国語科については「光村図書出版株式会社」で採択とします。次に、書写について、御意見ありませんか。

加藤委員

書写につきましても、光村図書がよいと思います。

国語教科書との関連性も内容・題材的にもたくさんありましたし、先ほど構成の話为国語教科書で申し上げましたけれども、学習の進め方においても、考えよう、確かめよう、生かそうという提示があり、学び方が積み上げられていくような内容構成になっているというふうに思いました。

目標や学習の窓で、学習の内容を理解して、目標とリンクした振り返りもチェックできるページもあります。

それと硬筆と毛筆の学習のすみ分けの部分です。書写ブックが巻頭26ページに分散されており、大変硬筆も取り組みやすく充実していると思いました。

それと、入学願書や原稿用紙の書き方、手紙、はがきや電子メールなど、書写に関わる情報があり、日常的な実践的な学びができるのではないかなと思っています。

端野教育長 他に御意見はありませんか。

和田委員 書写ですけれども、中丹の採択協議会では光村図書出版が採択されましたけれども、ほかに評価の高かったのが三省堂のように感じました。まず三省堂の図書について少し触れたいと思うのですが、1点目は目標の設定、書き方のポイント、ポイントの使われ方、毛筆で書く、振り返る、硬筆で書く、活用を見開きで構成しています。これがよかったと思います。2点目は、書き方を学ぼうでは、どこに気をつけてどのように書けばよいのか、具体的な例を示して、巻末に一覧で折り込みをしています。3点目は、振り返りの課題では、全国学力学習状況調査などを意識して設定しているなどの特徴が読み取れたような感じがしました。それに対して、光村図書出版の図書では、学習の窓で書写力を上げるポイントがたくさん示されていました。先ほどもありました標準の基本的な書き方を学ぶ教材では、生徒に分かりやすく書きやすい等に配慮して、半紙原寸大で掲載されていました。これがよかったように思います。書写ブックには、毛筆で学習したことを活用する硬筆練習帳があり、繰り返し練習することで、書く力の定着が図られていたように思います。それから、新学習要領で求められている文字文化に親しむ、具現化するため、全国文字マップで生徒の興味関心を高めていました。総合的に考えて、生徒に使いやすく、教師に指導しやすいと感じました。書写の教科用図書については、加藤委員と同様、光村図書出版がよいのではないかと思います。

端野教育長 書写について、お二人のほうから光村図書のよさを言っていただきました。それでは、書写については「光村図書出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 異議はありませんので、書写については「光村図書出版株式会社」といたします。次に社会科、地理・歴史・公民に移ります。

和田委員 私は基本的には3分野は同じ出版社の書籍がよいのではないかと考えながら、7社の図書を見せていただきました。中丹の採択協議会においては、東京書籍が採択をされました。東京書籍の図書については、地理・歴史・公民の3つ共通のところでお話をさせていただきたいと思います。小学校フリー会議、課題を掴む導

入で、小学校マーク三角を使用して単元で働かせる新設した見方、考え
方コーナーで、学習指導要領で示されている見方、考え方と深い学びに
つなげている工夫が感じられました。

紙面レイアウトの関連で、現在使っております教科書より、資料をより
大きく掲載されておりました。

2段階の基礎・基本を確認するチェックと、要約や説明をする言語活動
のトライで、学習内容の定着を図っていたように思いました。

生徒キャラクターで探求課題解決のヒント、先生キャラクターで研究課
題の解決を促しているキャラクターの働きが面白かったように見えま
した。

歴史・公民に関するページに直接リンクした二次元構図が使用されてい
てよかったなと思いました。

それから、標準学力調査を踏まえ、生徒がつまずきやすい学習内容の理
解を深めるため、デジタルコンテンツを豊富に使用しておりました。

難点は、私が読み取れなかったのはこの東京書籍はほかの出版社もです
が、写真を多く使って分かりやすくされていたように思いました。また、
使い方にやや疑問があるところが見られたような感じがしました。

以上のように、東京書籍と判断しました。しかしながら、私は東京書籍
ではなくて、日本文教出版の図書が教科用図書として適しているのでは
ないかと思しますので、意見を少し述べさせていただきたいと思いま
す。日本文教出版の3種の教科書については、1時間後、見開きに2ペー
ジとして、この1時間で何を学習して何に着目をして学習を進めるかが明
確で分かりやすい。その上に深みを確認する項目を設けて、学習の定着
を図る工夫がなされていました。

アクティビティを設けることで、目当てに対する学びの成果と、自分の
理解の深まりが実感できるように工夫されていたように思います。

地震・火災・気象災害・防災・減災などを学習して、実践的に学習を提
案するページが設けられていました。

それから、2022年から18歳成人を見据えて社会の中での自立、生
き抜く力や課題を養う力の育成を狙った教材も扱っていました。これら
が私が日本文教出版を推薦するところですが、どの会社の図書を見まし
ても、章・節・項・目から成り立っていますが、章・節はほぼどの出版
社においても同じ組み立てになっていますが、日文の項の組み立てがう
まくできていて、そのよさが目の学習内容の無理のない自然的な学習の
級割につながっていると感じ取れました。

日文が子どもたちのこれからの育ちに期待していることが表れているこ
とが、言葉の使い方に表れていますが、違いがよく分かるのが、公民で
多くの出版社は何々はいけません、何々はあってはなりませんと表現し
ているのに対して、日文は多くの人々がなくすために力を合わせていま
す。こういう表現になっています。

これは、生徒がともに行動する体育の育成や、学習意欲を高める表現に
なっていることが、あちこちから推測されることなどから、私は東京書
籍ではなくて、日本文教出版の教科用図書が適当であろうと考えました。

端野教育長 他に御意見はありませんか。

織田委員 和田委員さんのほうからいろいろご説明がありましたけれども、中丹の
採択協議会で議論されましたとおり、東京出版を推薦をしたいと思っ

います。基本的には地理・歴史・公民とも複数の出版社が今回エントリーをされているわけですが、やっぱり3分野については同じ出版社の教科書に基づいて学習をしたほうがよろしいのではないかと、ここで、特徴的なところとしましては採択協議会の中でも書いてありますとおり、QRコード、これを非常にさまざまな部門で使用されており、いろいろな資料をそこから得ることができて、学びやすい構成になっていると考えております。

それから、各章を追うごとに、探求課題を設けられており、その探求ステップを各ステップごとに設けていると。この流れで学習を進められるという構成となっております、点の学習から線の学習へと連続した学びとなるような構成になっているのではないかと思います。

そういう意味におきましては、3分野の教科書につきましては、同じ出版社のものであり、なおかつ一貫性が3年間を通して学びやすいというところで、東京書籍を推薦したいと思っております。

端野教育長

1年と2年で地理・歴史・公民ともに、同じ教科書がよいということの基本において考えて、見落とさないようにしなければと思われるほど、教科書兼資料集のような教科書になります。その活用をしっかりと100%するというようになっていたら、よほど指導計画なり、事前の教材権が指導者には必要になってくるだろうと、そのように思いました。

特に、東京書籍の教科書は、確かに先ほど言いましたようにページの中にたくさんあります。これを活用すれば、今子どもたちに求められる学力診断結果等で言われます、さまざまな情報を組み合わせて、いろいろな考えだとか、いろいろな情報、材料を組み合わせて自分の考えなり意見を言える、そういう考えを持てる、そういう力を育てるという方向にあると思われるわけです。

東京書籍に関する意見と、日文がいいという御意見もあったわけですが、その中でも東京書籍についてのよさも触れながら、日文のよさを言っていたということだと思います。

それでは、社会科については、地理・歴史・公民とも「東京書籍株式会社」に決定ということではよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

端野教育長

社会科については、地理・歴史・公民ともに「東京書籍株式会社」といたします。

次に、地図に移ります。

和田委員

地図は中丹で採択されたとおり、帝国書院を採択したらどうかと思います。

まず、色使いが鮮明で目映りが優しくて見やすい。それから地図上に描かれた絵記号が多種多様で楽しく活用できる。それから、判型のB判からA判に拡大することによって、大判のメリットが生かされている。それから、地図を活用して地裁的に学べる力を身に付けるために、随所に地図活用コーナーを90カ所以上設けている。それから、インクルーシブ教育に配慮して、都道府県、府県庁所在地を手話で表すコーナーを設けているなど、地図として面白い帝国書院を採択してはどうかと思います。

端野教育長 帝国書院の地図らしい地図と思いました。
それでは、地図については「株式会社帝国書院」に決定ということによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 異議はありませんので、地図は「株式会社帝国書院」といたします。次に、数学科に移ります。
御意見はありませんか。

和田委員 数学科においては、中丹地区の図書採択協議会で、東京書籍を採択することに決まりましたけれども、その中で続いて評価の高かったのが学校図書であったように記憶をしております。
学校図書について少し触れたいと思うのですが、学校図書には各学年共通のノートを使い方をすることで、家庭学習や理化学習ができるように刊行に工夫がなされている、これは非常に大切なことだと思いました。章の始めの問題では、基本・応用・活用の3つに分類して、習熟度に応じた確認ができて、章末や巻末の課題で個に応じて学力を伸ばすことが工夫されておりました。
東京書籍を読みますと、算数と数学をつなぐ単元を改めて新設して、ゼロ章として算数が苦手な生徒にも配慮してありました。
理解に課題のある生徒への配慮、理解の進んでいる生徒の配慮がなされているなど、生徒に応じて学力を伸ばす配慮がなされていました。
東京書籍のどの教科においても、全国学力調査の活用形問題や、さまざまな課題問題に対応できる記述式などの問題を多く掲載されていて、章末問題の充実が図られていました。
また、深い学びにつながるデジタルコンテンツが豊富に設定されていました。
それから今求められていますデータ活用力を育成するための、一目でわかりやすい箱イベントを新しく採用して、リアルデータを用いた教材を活用しているなどの工夫が見えたように思います。
これらのことから、子どもたちに細かな配慮がなされている、教科用図書採択協議会で採択されました東京書籍の図書が適当であると考えました。

端野教育長 他に御意見はありませんか。

塩見委員 今の御意見に対しまして、1点付け加えをします。
東京書籍は、日常の生活体験との関連を意識した素材が数多く取り上げられており、数学が身近な存在で、役に立つという視点が強調されていると思います。

端野教育長 今お二人から数学科については東京書籍ということでした。
それでは、数学科につきましては「東京書籍株式会社」に決定ということによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 異議はありませんので、数学科については、「東京書籍株式会社」といたします。次に、理科へ移ります。
御意見ありませんか。

織田委員 まず理科のほうですけれども、5つの出版社がエントリーをされていて、私的には非常に内容・構成という分については、各出版社とも優劣をつけづらい部分はあるのですけれども、結果的な判断として、単元の学習のまとめでありますとか、力試しという部分で、学年末総合問題というところで、基本的な内容を確認できるようになっており、さらにはみんなで解決では生徒が意見を出しやすく、非常に話しやすい問いを設定しています。かつ探究活動に取り組む流れを分かりやすく探求シートという形で巻末に資料が付してある工夫という意味におきましては、啓林館さんのほうを推薦させていただきたいと考えています。

端野教育長 他に御意見はありませんか。

塩見委員 私も啓林館を推薦します。3点の特徴点があります。
1つ目です。科学コラムで日常の家庭や学校での生活、仕事、未来社会との関連など、さまざまな内容が非常に多く取り上げられていること。
2つ目、資料が豊富であること。
3つ目、ページの半分程度、図や写真を掲載しています。また、書き込みができる箇所を多く設定していることからです。

端野教育長 他に御意見はありませんか。

全委員 特になし。

端野教育長 それでは、理科につきましては、「株式会社新興出版社啓林館」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 異議がありませんので、理科については、「株式会社新興出版社啓林館」といたします。次に、音楽の一般、器楽合奏のうち、音楽の一般に移ります。
御意見ありませんか。

塩見委員 音楽の一般です。私は教芸を推薦します。その推薦理由として、3つの特徴を申し上げます。
1点目は、多彩なジャンルの作品や資料が掲載され、生涯にわたり音楽文化に親しまれる教養や、素地を育成できるように考えられていること。
2点目は、戸外や生活の中の音楽、震災復興支援、著作権等について音楽の持つ意味や価値を生徒が意識的に考えることで、音楽活動を通して社会とのつながりをきっかけに見識を広げられるよう、詳しく表示していること。
3点目は、小学校、中学校の9年間の連続した教育課程において、同一出版社ならではの指導の一貫性、正当性に留意性があることです。

ただ、教出もよい特徴点があります。教出の特徴点の一つ私が思いますには、巻頭には我が国の自然や地理の美しさを味わえる歌唱教材のカラー写真、巻末にはワイドなビジュアル図鑑が掲載されていて、音楽を学ぶ楽しさが広がるように工夫されていること、よかったですと思います。

端野教育長 他に御意見はありませんか。

加藤委員 私も塩見委員さんが言われたように、教育出版のほうも非常に魅力的な部分はありました。理由は、同じようですけども、曲ごとに写真や絵が豊富にあり、曲のイメージが持ちやすいということは指導につながるのかなと思いますし、音楽の楽しさへ誘うような工夫がなされているなというふうには思いました。

ただ、やはり教芸のほうの教科書を見ていますと、曲の選定や配置などは、生徒たちにも教員、特に若手教員にとっても、興味関心を持って入ることができるのではないかなということをまず思いました。

特に、1年生教材は、小学校のつながりがあるなじみの曲が非常に多く、歌いたいなとかこれまでやってきたこともあったなとか、そういう思いになるのではないかなという、音楽への楽しさも出るのではないかと思いました。

1年間の学習内容の一覧がありますけれども、学習指導要領に示された点と、教材との相関性が一目で分かり、教材の音楽を形づくっている要素も示されております。

そして、巻末の音楽の約束の一覧ですけども、子どもたちもちょっと苦手意識があるのではないかなと思いますが、その弱点を大変見やすく丁寧に整理されているなというふうに思いました。

教科書左端の学習目標の提示や上段には具体的な活動ポイント、右端に楽譜上の音楽記号を示して、具体的な学びが視覚化されているなというところが非常にいいなと思いました。教芸がいいなと思います。

端野教育長 他に御意見はありませんか。

全委員 特になし。

端野教育長 それでは、音楽一般につきましては、「株式会社教育芸術社」に決定ということでもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 異議はありませんので、音楽一般については、「株式会社教育芸術社」といたします。つづきまして、器楽合奏に移ります。

塩見委員 器楽も教芸を推薦します。特徴点2点申し上げます。

1点目は、各教材ではどのような音楽の力を身に付けるのかが分かりやすく提示され、教える側、学ぶ側の各立場で器楽の学習に見通しが持てるように工夫されている点。

2点目は、楽器に関するQ&Aやチェックポイントのコーナーなどがより豊かな表現力習得のステップとなっていることです。

端野教育長 他に御意見はありませんか。

加藤委員 私も器楽においても、教芸がいいのではないかと思います。一番はいろいろな幅広いジャンルの音楽等があるんですが、日本の伝統音楽等を扱うページが全体的には非常に重要視されているのではないかなと思いました。

我が国の伝統音楽とか、郷土の音楽、クラシックなど、多彩な作品や資料が掲載されており、生涯にわたって音楽文化に触れる素地を育成できるという点では、教芸の教科書がいいのではないかなと思いました。

端野教育長 私も中丹の記録によりますと、生涯にわたって音楽文化に触れる、その素地を育てる。これは教育の中では非常に大事なものだ、基礎を育てるということも大事だと思ひ、素地を育てるということは学びの上で大事なことということも思ひますので、器楽合奏、教芸ということで私もそのように考えます。

そうしましたら、音楽の器楽合奏は「株式会社教育芸術社」に決定ということによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 異議はありませんので、音楽の器楽については、「株式会社教育芸術社」といたします。次は、美術に移ります。

塩見委員 私は、美術は日文を推薦いたします。その推薦理由の特徴点4点を申し上げます。

1点目は、掲載作品が大きく、また見開きなども利用し、原寸大で作品を鑑賞できるなど、ページを開いたときに目を引かれる構成をしている。例えば、このようなページです。教科書でもありますが、生徒にとっては美術図鑑のような感覚も持てる印象の深い教科書になっていると思ひます。

2点目は、教科書が3冊になっており、造形的な視点として考えていく上でのヒントが掲載されています。

3点目は、巻末資料では、色彩などの基礎知識や技法の紹介だけでなく、文化遺産や伝統に関する知識も紹介されており、内容が充実しています。

4点目は、学年に応じた美術史の掲載が適切です。

日文を推薦するのですが、開隆堂にもよい特徴点が2点あったと思ひます。

1点目は、専門用語の解説が各ページに掲載されていること。

2点目は、コンピュータを使った作品紹介は、今後多様な活用方法を考えることができいくのではないかなと思ひます。

しかし、先ほど申し上げました理由から日文を推薦いたします。

端野教育長 私も日文を、私もそれを読むのですが、教科書そのものに今お話がありましたように、まさに図鑑、教科書というよりも図鑑、非常にダイナミックで迫力があります。

それでは、美術は「日本文教出版株式会社」に決定ということによろしいでしょうか。

- 全委員 異議なし。
- 端野教育長 異議はありませんので、美術については、「日本文教出版株式会社」といたします。次に、保健体育に移ります。
- 織田委員 保健体育ですけれども、見比べる中で、学研さんの書籍も非常に最近の自然災害を捉えて、非常に深く学べる内容になっていると思いますけれども、逆に、東京書籍のほうは、いろいろな災害はありつつも、その災害の種類ではなくて、主体と共助が災害に係る大きな視点だというふうに考えているところがよいと思います。よって自然災害による傷害の防止、それからともに生きるという部分でつながっていく構成になっており、主体と共助という視点から、東京書籍のほうを推薦させていただきたいと思いますし、いろいろな工夫をされている中で、非常に読みやすい、見やすい教科書として作り上げられていると思います。
なおかつ、動画コンテンツも整理をされており、子どもたちの視点からも非常に学びやすい手法が取り入れられているのではないかとということから、東京書籍を推薦させていただきます。
- 端野教育長 今御意見ありましたように、動画というのは非常に魅力的と私は思います。
保健体育については、「東京書籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。
- 全委員 異議なし。
- 端野教育長 異議はありませんので、保健体育は「東京書籍株式会社」といたします。次に、技術・家庭の技術に移りたいと思います。
- 織田委員 技術・家庭の技術分野のほうですけれども、3つの出版社とも、非常によく構成された内容で、事例等も豊富に取り上げられているわけですが、幾つかのポイントの中で、各項目、特に作業内容という分については、安全、それから衛生面で気をつけることで丁寧に記載をされているのではないかと考えております。
それから、各内容の問題解決例では、非常に統一された問題解決の流れを示されておりまして、生徒さん自らが問題解決への見通しを持って取り組めるように配慮された内容になっているのではないかと思います。特に、作業をされている人の顔写真や、作業をしている人の作業風景という分については、人物が実際に写っていることによって、非常に身近に感じることができるという部分と、技術の匠（たくみ）として、新しい技術や伝統的な技術など、興味関心を引き出す工夫がされており、結果として生徒たちの、子どもたちの将来の職業観を養う意味においては、東京書籍のほうはよいのではないかと推薦をさせていただきます。
- 端野教育長 東京書籍ということで、御意見をいただきました。今の御意見に同じように思うのは、生徒たちの将来の職業観を養うという、キャリア教育の部分にやっぱり触れる、今日から学習を通じてその指導をやる、この部分が特に技術という教科から言うと、非常に大事な側面ではないかと、そんなふうに思います。

技術・家庭の技術については、「東京書籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

端野教育長

異議はありませんので、技術・家庭の技術については、「東京書籍株式会社」といたします。次に、家庭科に移ります。

加藤委員

家庭科につきましても、東京書籍さんがいいなと思いました。理由は4点あります。

内容の配列です。B、衣食住の生活、C、消費生活・環境、A、家庭生活のB、C、Aの内容配列は東京書籍のみでした。特にBの中でも食生活からスタートしておりまして、子どもたちにとって、家庭が最も身近に感じる題材ではないかなということに一番魅力を感じました。

2点目は、学習目標やまとめの件ですが、毎時間の学習目標の提示、例えば食生活が終わるごとの学習のまとめがあり、3つの観点であります学習を振り返ろう、学習したことを確かめよう、生活に生かそう、それぞれを自分で確認できる項目一覧がありました。

3点目は、基礎的技能の確認ができるということです。各編ごとに、いつも確かめようとして、実習や生活での実践に必要な必ず身に付けさせたい基礎的な技能をまとめて掲載されており、いつでもそのページに戻れば確認できるというところがいいところだと思いました。

それから教科書の印象の部分では、カラーのユニバーサルデザインが施されているなと思います。カラーバリアフリーの観点から、配色とデザインが配慮されて、教科書全体が淡いパステル調の色調になっています。写真についても、色覚属性に配慮し、色調が抑えられて柔らかい印象があります。調理などの食材も大変おいしそうに見えるなというふうに思いました。

ただ、題材のそういった一つ一つの目標が少し大きな捉えで、明確さに欠け、振り返りとの整合性にはちょっと課題があるかなというのが少し残念なところだったと思います。

その点、教育図書の各題材の目標の具体性と振り返りの整合性という辺りでは、これは非常にいいと思いました。

各社とも同じ題材が配置されているものもあるわけですが、例えばハンバーグのような題材についても、東書は挽き肉の調理上の性質を理解できるというようなやや大きな捉えですが、教育図書は、厚みのあるものの中心部まで火を通すやり方を理解し、焼くことができる。ひき肉に混ぜる材料の役割を理解するという、教師にも生徒にも何をしたらいいのかということが、ゴールが見えやすいかなというふうに思いました。

もう1点は、そういった実習例に失敗した例の提示もあり、なぜハンバーグが中まで火が通らずうまくなかったのかを考えさせようとするコーナーもあったので、そういった点はいいかなというふうに思いましたが、やはり相対的に東京書籍の内容配列がB、Cで、さらに食生活からスタートしているという辺りが、家庭科に入るという部分では、4月の家庭科に出会うという点では、先生たちの声もこのB、C、Aの順というのはいいいという声も聞こえてきておりましたので、そこに一番魅力を感じました。

端野教育長 教科書を見たら色合いというのは家庭科という教科、題材から考えると、非常に重要な点だと思いました。
家庭科につきましては、「東京書籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 異議はありませんので、技術・家庭の家庭科については、「東京書籍株式会社」といたします。 次に、英語に移ります。

塩見委員 開隆堂を推薦します。その開隆堂の特徴点、推薦の理由を3つ申し上げます。
1点目は、英語、即興力が大事になります。その育成の件において、開隆堂は身近なことについて話す、場面状況に応じて話す、メモを元に即興で話すという3つの活動をスモールチェックで段階的に指導し、充実した育成、力を育成することが期待できる構成であると思いました。
2点目は、文法です。英語の仕組みという文法説明のコーナーが丁寧で分かりやすく工夫されておりました。文法用語も適切に用いて説明がなされておりました。
3点目は、本単元で着目させたい部分は太字で表記されておりまして、重要語句等を意識させやすい。そして語彙数が多く、英語力を身に付けさせたい、向上させたい中丹地区の実情にも合っていると思われまます。ただ、光村図書も特徴点がありました。基本文習得の道筋として、リスニング、スピーキング、ライティングの順で複数の技能を用いた流れを作っている点は、分かりやすい特徴だと思いました。
また、東書は小中の接続詞が充実しておりまして、小学校での必修事項には小学校マークが付されており、復習するときピンポイントで復習事項の確認ができることがよい点でした。
しかし、開隆堂を先ほどの3つの特徴点から推薦いたします。

端野教育長 英語については、小学校で外国語活動になります。また、英語としての外国語は強化させたい。子どもたちが入ってくる中学校の外国語、英語の教科書ということになってきます。その辺り、小学校の様子を振り返ってみると、即興力とか、それから場面に応じてメモに応じてというその辺りの力というのは、小学校ばかりやったんですが、小学校の英語活動、外国語活動通じて、よく子どもたちを見ていくと、活動の中でそういった場面が実際にALTさん、また外国の人を相手にするときの子どもの対応等を見ていると、先ほど御意見のあった場面の状況に応じて話すとか、メモを元に即興で話すとかいったこの力というのは非常に大きな力、大事な力だと私は思っています。
それでは、外国語科（英語）については、「開隆堂出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 異議はありませんので、外国語科（英語）については、「開隆堂出版株式会社」といたします。 次に、道徳に移ります。

和田委員

中丹地区の採択委員会では、道徳の教科用図書については、光村図書出版の図書を採択しました。確かに光村図書出版の図書には、生徒の成長に沿って学年の初めに自らの在り方を考えて学校生活から社会生活へと視野を広げ、学びを振り返り、新の学年へつないでいくという3つの進度に分かれていて、学習が明確で進めやすいというよさがあったように思います。

それから1時間ごとの学んだことに気づいたことを書き込むポートフォリオ形式の振り返りシートが新しく設けられていた。

それから学習を自分のものとして定着させるために、1学年に4カ所、深めタイムを設けていて特にいじめ問題と情報モラルについて、全学年で取り組んでいるということから、教材がバラエティに富んでいて、活動を通して学ぶことができる点がよいと思いました。

しかし、私は廣済堂あかつきが適していると考えています。まず授業の取り掛かりになります1年生の文字ポイントが大きく学習に入りやすく目に優しい。

読み継がれてきた名作や感動教材が多く、心にしみる教材が目立ちます。この教材が経験の浅い先生に向いていないのではないかという意見もありますが、指導書には分かる、使える、助かるが設けられて、詳しく、分かりやすく掲載されていて、みんなで考え、話し合いながら作り上げる授業ができる配慮がなされています。現代的課題を合わせ、さまざまな視点から考えながら生命の尊重、いじめ防止、人権尊重に重点を当てて、決して許せないという姿勢で教材が掲載されているように読み取りました。

それから、本冊と別冊の分冊になっていて、本冊はともに考え話し合う、別冊は自分を見つめ振り返ると示され、別冊の活用目的が明確で、中学校の子どもたちの学習の記録としてだけではなくて、思春期の細かな心の記録として、有効であろうと読み取りました。

他社にも「学習の記録」が、学習の振り返りとして記録はありますが、心の記録を残す形のものはないかのように思います。

最後に、経験の浅い先生方に対して、指導書では授業の展開の幅を広げ、選択のできる指導の仕方、助言の仕方が多く取り入れられていることから、子どもたちには分かりやすく感動を得る教材であり、先生方には指導しやすい教科であろうと私は読み取りましたので、廣済堂あかつきが適しているのではないかと意見を述べます。

端野教育長

他に御意見はありませんか。

加藤委員

比較的ある中で、私も最終的に光村図書と、廣済堂あかつきと、非常に最後まで迷いました。1学年、2学年、3学年ともに教材を読ませていただいている中で、途中でふと気が付いたことがありました。

光村図書を推薦したいと思うのですけれども、光村図書の教材が読み物教材としてではなく、感動的な思いを持たせるということ、それだけでなく教材が全体的に非常に問題解決的な構成で、考える余韻を残しているなどの題材も思いました。

教材の価値がその本文の中から前面に出ていないので、生徒がさまざまな視点で思いが持てると思いました。

これが今求められている考え、議論する道徳になりうると思います。

また、読んだときの感動というものが、やはり10代前半の子どもたちにとって、同じような感動に思い至るのかどうかも少々疑問にも思いましたので、やはり題材、教材的には光村図書の構成がいいと思います。内容的にも、生徒の日常に即した身近な課題が取り上げられておりまして、生徒はもちろん、若い教員層の指導者側にも共感を持って臨めるのではないかと思います。

ただ、先ほど和田委員さんにもありましたように、1、2年生、3年生で同じ文字サイズで非常に細かい文字になっていますので、その辺はやはり1年生の配慮というのは、小学校から上がったばかりなので配慮はいると思いました。

道徳的価値が教材の一番最初に目にされているので、疑問を持ちましたけれども、先ほど申しあげました大きな2点によって、光村図書がいいと思います。

端野教育長

他に御意見はありませんか。

塩見委員

協議会のときから報告を聞いて、あかつきを推したいと思っておりました。なぜかと言うと、あかつきの資料は、その報告会でも古いということがありました。しかし、心を打つ優れた内容は時代を超えるものではないかと思っています。

しかし、今の御意見を聞いて、その提示の仕方は教科書の持つべき役割が大きいいと思います。読んで感動して完結してしまうような読み物教材ではないかかと思っています。生徒の扉を開けるような、オープンエンドというか、それを土台として、どういうふうには自分は、そして友達はどのような考え方をしていたのか、変容があるのか、そういった考えを深めていく提示の仕方が大事なんだと思って、聞かせていただきました。それで、光村がいいと思います。

端野教育長

光村の表紙を開けて2ページ目に、1年生、2年生、3年生ともに詩が2ページにわたって書かれている。

道徳の狙いからいうと、読み物で、感想を言って、最後に担任が締めて終わりというのでは、道徳ではないと思います。やはり、子どもたちが気づき、考え、行動することからいうと、詩を読み、子どもたちの気持ちが道徳へ向かうような指導の流れなり、展開というのがこれからは必要だろうと思っています。

あかつきの表紙の裏は、道徳とはこうしましょう、こうしなさい、こう考えますとなっています。非常に対照的な気がします。

それでは、道徳については、「光村図書出版株式会社」に決定ということでもよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

端野教育長

異議はありませんので、道徳については、「光村図書出版株式会社」といたします。

以上、令和2年度以降使用中学校教科用図書について、16教科が終わりました。

最後に採択いたしました教科書の確認をさせていただきます。

国語科と書写は「光村図書出版株式会社」、社会科（地理的分野）と社

会科（歴史的分野）と社会科（公民的分野）は「東京書籍株式会社」、
地図は「株式会社帝国書院」、数学科は「東京書籍株式会社」、理科は「株
式会社新興出版社啓林館」、音楽科（一般）は「株式会社教育芸術社」、
音楽科（器楽合奏）は「株式会社教育芸術社」、美術科は「日本文教出
版株式会社」、保健体育は「東京書籍株式会社」、技術・家庭科（技術分
野）と技術・家庭科（家庭分野）は「東京書籍株式会社」、外国語科（英
語）は「開隆堂出版株式会社」、道徳は「光村図書出版株式会社」、で採
択いたしました。

以上、令和2年度以降使用中学校教科用図書ということで決定いたしま
す。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

3 閉会

端野教育長が閉会を宣言。